

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・特に、プログラムのカリキュラムが、先修条件が設定されていて履修順序に留意する必要があるのか、比較的自由に履修できるのかで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それを上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目(教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目)です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

教育学プログラム

<p>履修のしかた</p> <p>1年次は基礎・入門カテゴリーの「教職入門」、「教育思想」などの基礎科目を履修する。この時期は、様々な生じる社会事象や教育事象に興味と関心を持って学生生活を送るという姿勢が大切である。2年次では、理論、トピックスのカテゴリーから履修する。</p>
<p>他のプログラムとの関係</p> <p>・メジャーとして統合型プログラム(博物館学)、マイナーとして教育学プログラムの履修が考えられる。将来、博物館学芸員を目指す者だけでなく、各自治体の教育委員会事務局で文化財の保護に携わったり、社会教育の立場から学校と連携して、学校教育の支援をしたりすることなどが考えられる。</p> <p>・メジャーとして心理学プログラム、マイナーとして教育学プログラムの履修が考えられる。将来、スクールカウンセラーや児童相談所の心理職として学校と連携し子どもの教育や支援に携わることが考えられる。</p> <p>・以下に示す履修モデルを参考にして、科目については特に限定しないので、学生は自身の興味・関心をもとに、例えば上記の領域の科目から関係性を探って選択していくとよい。</p>
<p>留学・教職その他</p> <p>・留学したい学生は、まず、朝、昼、晩と勉強して授業についていき、そのうえで学ぶ言語と文化を理解してくる、という姿勢を持って出ること。</p> <p>・教員免許状の取得を希望する学生は、履修ガイドの教職課程のページを参照してください。</p>
<p>学生へのメッセージ</p> <p>私たちの目の前に展開する社会現象は、もともとは一人ひとりの人間が考えて、そのことに意味がある、と判断して行動されたことの積み重ねです。私たちもこの社会の構成員の一員として存在し、自分で考え、あることに意味を見出し、そして、そのことを行動に移したりします。これらのことは全てこの私たちの住む人間社会の中で起こっていることです。その構成員としては、直接的にも間接的にもお互いに関係し合っているということになります。みなさんは大学で学び、社会の中で自己実現を目指そうとしています。この社会の一員であるという自覚を持ち、様々な生じる出来事の解明と解決に取り組む姿勢を身につけてください。良い学びとなることを期待します。</p> <p>*教育学プログラムの学生:大量に読み、考え、そして書く、という学習姿勢が要求されます。授業には真剣に取り組むことが大切です。シラバスで授業のテーマを確認し、事前にそのことについて調べ、自分の考えをまとめて授業に臨むようにしてください。</p>

教育学 プログラム

1 学校教育支援履修モデル

本履修モデルは、教師とは異なる立場で、小・中学校、高等学校、特別支援学校などと連携して、将来を担う子どもたちのための援助を行うための土台となる資質を身につけることを目指します。心理学をメジャーとし、教育学をマイナーとして履修します。将来スクール・カウンセラーや児童相談所等の心理職として学校の教師と連携して子どもたちの成長を援助するために、教育に関する全般的なことや学校教育を理解するために必要なことを学びます。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・入門	○	教職入門	2	○	教育思想	2						
理論	○	生涯発達心理学	2	○	教育・学校心理学	2	○	比較教育学	2			
				○	家族心理学	2						
				○	学習・言語心理学	2						
				○	教育哲学	2						
					西洋教育史	2						
					日本教育史	2						
					生涯学習概論	2						
トピックス					博物館教育論	2						
					キリスト教と教育	2		現代アジアの教育と文化	2			
					家庭と教育	2		読書と豊かな人間性	2			
					宗教と教育	2		情報メディアの活用	2			
					子どもと開発	2		環境教育論	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 生徒指導論(生徒理解と教育相談)[2]
- ・ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法[2]
- ・ 専攻演習Ⅰ[2]
- ・ 専攻演習Ⅱ[2]

教育学 プログラム

2 社会教育専門者向け履修モデル

本履修モデルは、将来、博物館学芸員になる者だけでなく、広く社会教育分野で活躍し社会に貢献するための資質・能力の土台を築き上げることを目指しています。博物館学をメジャー、教育学をマイナーとして履修します。教育委員会事務局で社会教育に携わり、文化財の保護などの仕事に携わったり、社会教育の立場から学校と連携して学校教育を支援したりするために必要なことを学びます。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・入門	○	教職入門	2		教育思想	2						
理論	○	生涯発達心理学	2		教育・学校心理学	2		比較教育学	2			
					家族心理学	2						
					学習・言語心理学	2						
					教育哲学	2						
					○ 西洋教育史	2						
					○ 日本教育史	2						
トピックス					○ 生涯学習概論	2						
					○ 博物館教育論	2						
					キリスト教と教育	2		現代アジアの教育と文化	2			
					家庭と教育	2		読書と豊かな人間性	2			
					宗教と教育	2		○ 情報メディアの活用	2			
					子どもと開発	2		○ 環境教育論	2			

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・ 博物館学特論(文化遺産論)[2]
- ・ 教育制度論[2]
- ・ 専攻演習Ⅰ[2]
- ・ 専攻演習Ⅱ[2]